

【令和元年～令和3年】

近年のフォークリフトによる災害発生の特徴と問題点

安全管理士 堀野 弘志

フォークリフトによる過去3年の事故の型別・業種別死亡災害発生状況（令和元年～令和3年）

業種 事故の型	年齢 区分	製造業			建設業			陸運業			港湾荷役業			商業			その他			計			3年 合計
		令和			令和			令和			令和			令和			令和						
		元	2	3	元	2	3	元	2	3	元	2	3	元	2	3	元	2	3	元	2	3	
墜落・転落	50歳以上	2	1	2	1				1									1	1	3	3	3	9
	50歳未満	1		1				2	1					2						3	1	3	7
転倒	50歳以上		2					1						1				1	1	2	3	1	6
	50歳未満	2			1												1	1		3	2	0	5
激突	50歳以上							1												0	1	0	1
	50歳未満																			0	0	0	0
飛来・落下	50歳以上		1											2	2	2				2	3	2	7
	50歳未満				1												1			0	2	0	2
崩壊・倒壊	50歳以上								1											0	0	1	1
	50歳未満					1														0	0	1	1
激突され	50歳以上			1				2	1					1			1	1		2	3	2	7
	50歳未満					1									1	1				1	0	2	3
はさまれ・巻き込まれ	50歳以上	2	3	1		1		4	1			1			1	2				4	8	4	16
	50歳未満							1						1						0	2	0	2
交通事故	50歳以上																1			0	1	0	1
	50歳未満			2													2			0	2	2	4
合計	50歳以上	4	7	4	1	1	0	1	8	3	0	0	1	2	2	3	5	4	2	13	22	13	48
	50歳未満	3	0	3	0	2	2	2	2	0	0	0	0	0	1	3	2	4	0	7	9	8	24
		7	7	7	1	3	2	3	10	3	0	0	1	2	3	6	7	8	2	20	31	21	72
3年合計		21			6			16			1			11			17			72			

（資料：厚生労働省安全衛生部）

1 はじめに

令和3年の労働災害による死亡者数のうちフォークリフトが起因となった事故の死亡者数は21人で、前年の31人から10人の大幅減少となりました。

業種別では、対前年比で陸運業は7人減少、製造業は増減なし、建設業は1人減少、商業は3人増加となりました。

また、被災者の年齢区分別では、50歳未満が対前年1人減少の8人、50歳以上は9人減少の13人となり、結果として高齢労働者の割合は62%となりました。

また、「はさまれ・巻き込まれ」、「激突され」及び「飛来・落下」については、被災者の高齢労働者の割合が高いことが特徴となっています。接近するフォークリフトに気づき難く、素早く回避できないなどが原因と考えられます。

2 近年の死亡災害の特徴（全産業）

過去3年間におけるフォークリフトが起因となった死亡者数は、令和元年20人、令和2年31人、令和3年21人と増減を繰り返しています。（図1）

業種別には過去3年間の合計で見ると、製造業が最多の21人（29%）、次いで陸運業が16人（22%）、商業11人（15%）、建設業6人（8%）の順となっています。

事故の型別では、「はさまれ・巻き込まれ」によるものが18人（25%）と最も多く、「墜落・転落」が16人（22%）、「転倒」が11人（15%）、「激突され」が10人（14%）、「飛来・落下」が9人（13%）の順となっています。（図2）

図1 業種別フォークリフト死亡災害の推移（H24～R03）

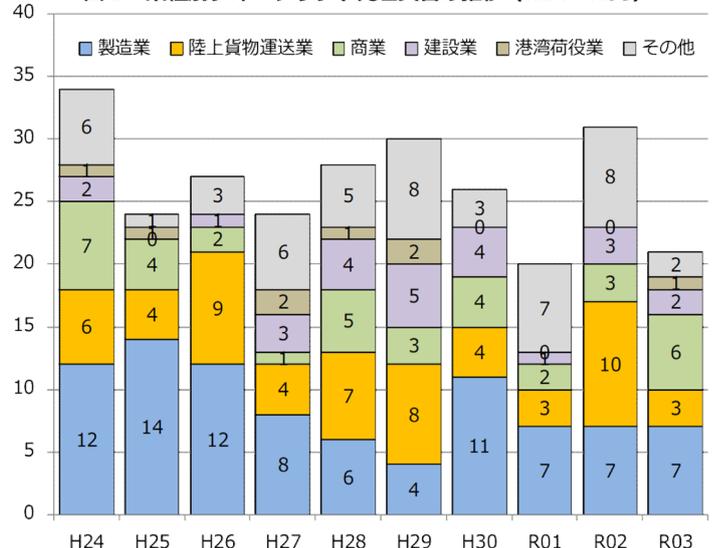
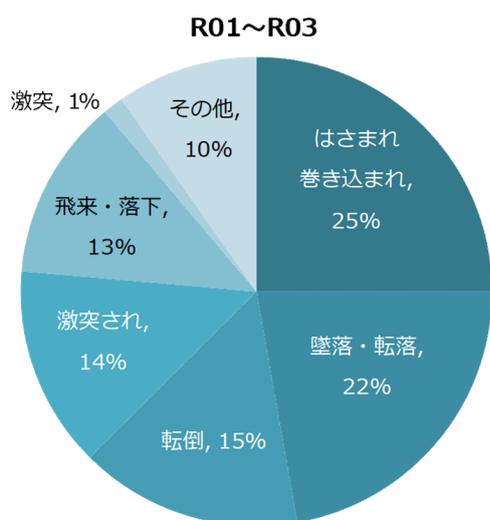


図2 事故の型別フォークリフト死亡災害



3 令和3年死亡災害の事故の型別問題点

(全産業21人)

① 墜落・転落 (6人)

- ・オーダーピッキングトラックを2.8mまで上昇させ墜落制止器具を使用せずに、ラックから商品を取り出そうと運転席から身を乗り出したところ、バランスを崩して墜落したもの。
- ・1人でフォークリフトを使用してトラックに荷を積み込み作業中、傾斜のある通路で、運転席から転落し頭部を受傷した。
- ・保護帽を着用せず、ウイング車から荷を卸すためにフォークリフトのパレットを荷台高さまで上昇させ荷をずらしてパレットに載せようとした際に、被災者がパレットから地面に墜落したもの。
- ・フォークリフトでトラックから取り卸した荷を運搬中、坂道で運転席から転落し頭部を損傷した。(保護帽未着用)
- ・無資格のフォークリフト運転者が丸太(長さ11m、重量約730kg)を2tトラックに積載する際に、丸太が転がり、荷台に乗っていた被災者に接触し、丸太とともに荷台から墜落した。
- ・倉庫入り口のカーテンが屋根の上にくれあがっていたので引き下ろすために、フォークリフトのパレットに被災者が乗り、フォークリフト運転者が約3mリフトアップしたところバランスを崩して墜落した。

【問題点】

- ・オーダーピッキングトラックで墜落制止器具を使用せず高所作業したこと
- ・用途外使用(人の昇降)したこと
- ・危険個所での危険予知不足
- ・シートベルトを使用していないこと

② はさまれ・巻き込まれ (4人)

- ・積み付けされた荷が崩れないように角材を差し込もうとしていたところにフォークリフトの荷が接近し双方の荷にはさまれた。
- ・坂道に停車したフォークリフトが逸走し、止めようとした運転者がトラックとフォークリフトの間にはさまれた。
- ・一人作業中の被災者が逸走したフォークリフトにはさまれた。
- ・積み荷前進走行中のフォークリフトが開梱作業中の被災者に気付かず接触した。

【問題点】

- ・フォークリフト停車時の逸走防止措置の不実施
- ・進行方向への安全確認不実施
- ・フォークリフトと人の作業区域分けが不実施
- ・危険個所への立ち入り

③ 激突され (4人)

- ・定められた安全通路を歩行せずショートカットした被災者に、フレコンを4つ吊って前方視界不良の状態で行進中のフォークリフトに轢かれた。
- ・後進走行中のフォークリフトに激突された。2件
- ・歩行中のトラック運転者が、積み荷前進走行中のフォークリフトに轢かれた。

【問題点】

- ・進行方向への安全確認不実施
- ・危険個所への立ち入り禁止措置不実施
- ・主たる用途以外での使用

④ 飛来・落下 (2人)

- ・平ボデートラックの鳥居部と後部あおりに斜めに積まれたC形鋼(12m)30本の束をフォークリフトで荷卸しする際に荷が滑り、荷台上の誘導者(保護帽未着用)とともに地上に落下し、荷の下敷きになった。
- ・段積みパレットを後進旋回中にパレットが被災者の頭上に落下した。

【問題点】

- ・保護帽未着用
- ・荷崩れ防止措置の不実施
- ・急旋回

⑤ 崩壊・倒壊 (2人)

- ・空パレット45枚(1組15枚x3組)の上段にフォークを差して停止し、積み荷の前方に移動したときに上段のパレットが崩壊してその下敷きとなった。
- ・3段重ねのパレット荷が崩壊し、身を乗り出した運転者の頭上に激突した。

【問題点】

- ・荷崩れ防止措置が不十分
- ・パレット積載方法が不安全

⑥ 交通事故 (2人)

- ・公道上での事故のため交通事故となっているが、2件ともにフォークリフトの横転事故。
- ・公道を回送中のフォークリフトが運転操作を誤って道路脇の水田に転落、横転し、投げ出された運転者が下敷きとなった。
- ・公道を走行中、対向車を避けるため、路肩に寄せたところ脱輪、水路に横転し、ヘッドガードと水路のコンクリート壁に頭部をはさまれた。

【問題点】

- ・運転操作ミス
- ・シートベルト不着用

⑦ 転倒 (1人)

- ・フレコンを吊ったフォークリフトがステンレス製の床面を走行中、床面が凹み、バランスを崩して転倒した。被災者はフォークリフトと床の間に頭部をはさまれた。

【問題点】

- ・用途外使用(吊荷走行)
- ・走行床面の強度不足

4 近年のフォークリフト起因の死傷災害

過去3年間におけるフォークリフトに起因する死傷者数は、令和元年2,145人、令和2年1,989人、令和3年は大前年比39人増の2,028人となりました。

業種別では、過去3年間の合計でみると、陸運業が39%で最も多く、製造業30%、商業17%となっています。(図3、4) 陸運業は前年比6人の減少で783人となりました。

事故の型別では、はさまれ・巻き込まれが35%、激突され26%でフォークリフトと人の接触つまり轢かれが最も多くなっています。(図5、6)

5 フォークリフト安全作業のポイント

- ① 用途外使用(人の昇降、牽引、吊上げ)禁止
- ② 無資格運転を絶対にさせない
- ③ 横転注意: リフトアップしたまま走行・旋回しない、傾斜通路を走行しない、シートベルトを着用して投げ出されないようにすること
- ④ 進行方向(前後左右)への安全確認
- ⑤ フォークリフトの走行経路へ立ち入らないこと
- ⑥ 作業開始前点検と整備を徹底すること

・シートベルト不着用

図4 業種別フォークリフト死傷災害の割合 (R01~R03)

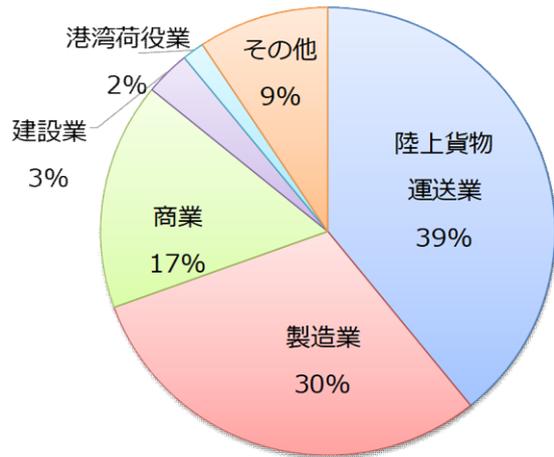


図5 事故の型別フォークリフト死傷災害 R01~R03

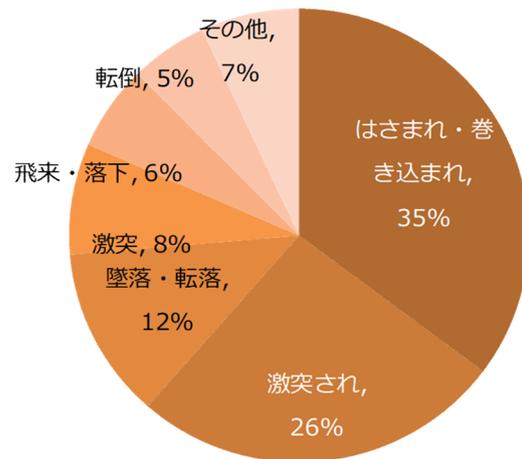


図3 業種別フォークリフト死傷災害の推移 (R01~R03)

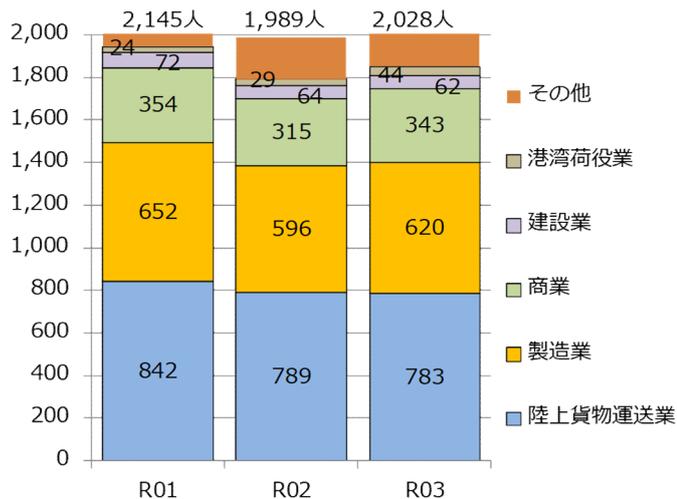


図6 事故の型別フォークリフト死傷者数の推移 (全産業: R01~R03)

